

2021 年 3 月 5 日

株式会社電通デジタル

電通デジタル、アジア太平洋最大級の広告祭「Spikes Asia 2021」の 2 部門でグランプリ受賞

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下、電通デジタル）は、3 月 4 日に審査結果が発表されたアジア太平洋地域最大級の広告祭「Spikes Asia 2021」（スパイクス アジア 2021）において、株式会社電通（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：五十嵐 博 以下、電通）、株式会社電通ライブ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長執行役員：高木 正彦 以下、電通ライブ）と共同制作した『“名画になった”海展』（クライアント：株式会社横浜八景島）が、優れたデジタルソリューションやアイデアを表彰する「デジタル部門」と「デジタル・クラフト部門」においてグランプリを受賞しました。

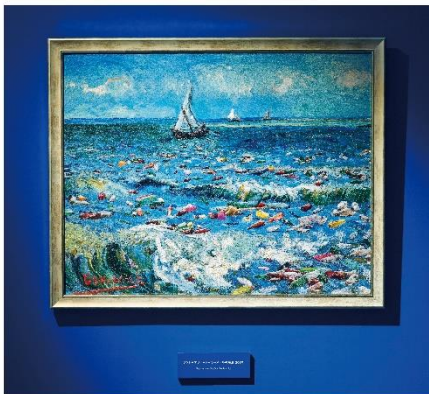


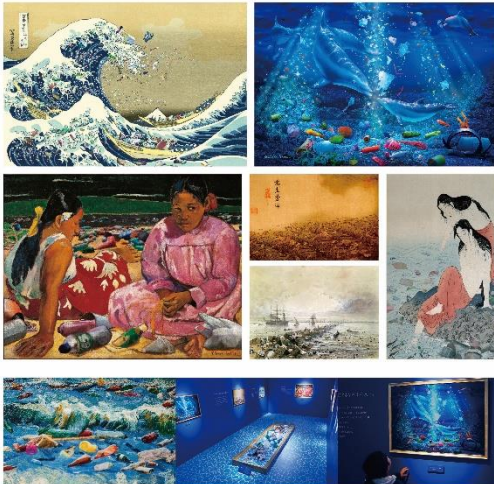
〈受賞クリエイティブ〉「“名画になった”海展」



**The Ocean:
Future Masterpieces**

The exhibition that visualized the sea with plastic waste in 2050 using AI painting.





仙台5みの杜水族館
SENDAI UMI NO MURA AQUARIUM

Challenge

Plastic pollution in our oceans is a global problem. By 2050, the volume of plastic waste in our oceans is expected to exceed the volume of fish. For the exhibition, we aimed to visualize the volume of plastic waste in our oceans in 2050 using AI painting.

Idea

By using AI painting, we aimed to visualize the volume of plastic waste in our oceans in 2050 using AI painting. The exhibition was held at the Sendai Umi no Mura Aquarium from March 1 to March 14, 2021.

Results

30,000+ visitors in 10 days

"This is not just the future, it's the present. We need to act now to protect our oceans."

"The exhibition was held at the Sendai Umi no Mura Aquarium from March 1 to March 14, 2021. It was a great success and we received many positive feedbacks from visitors."

クライアント：株式会社横浜八景島

クリエイティブについて：プラスチックごみによる海洋汚染の深刻さを発信するため、「2050年に海洋プラスチックごみの量は魚の量を超える」という予測データ※¹に基づき、実際のプラスチックごみの画像をAI（人工知能）を用いて、世界中の「海」が描かれた名画の画家のタッチに変換し、2050年版を作成しました。未来の海を絵画という形で表現し、2019年7月に仙台うみの杜水族館にて美術展「“名画になった”海展」を開催しました。

本作品では、電通デジタルのデータ/AIとクリエイティビティの融合を目指したクリエイティブチーム「アドバンストクリエイティブセンター」が参画しています。

なお、電通グループとして、海外拠点も含めて14の部門で41個の賞（部門最高賞のグランプリ3、イノベーション・スパイク1、ゴールド5、シルバー10、ブロンズ22）を獲得し、最もクリエイティブなネットワークに贈られるNetwork of the Year（ネットワーク・オブ・ザ・イヤー賞）を受賞しました。

今後も電通デジタルは、生活者のインサイトを徹底的に深堀し、最先端のテクノロジーとクリエイティブ手法を活用し、人の心とモノを動かすクリエイティブを提供してまいります。

※Spikes Asia（スパイクス・アジア）は、アジア太平洋地域（APAC）における高いクリエイティビティを讃えることを目的に、毎年シンガポールで開催されている地域最大級の広告祭です。2020年はコロナ禍の影響で中止となり、2021年は審査結果がオンライン上で発表されました。

詳細は、Spikes Asiaのホームページをご覧ください。<https://www.spikes.asia/>

※1：「The New Plastics Economy Rethinking the future of plastics」（世界経済フォーラムおよびエレン・マッカーサー財団による報告）http://www3.weforum.org/docs/WEF_The_New_Plastics_Economy.pdf

以 上

【株式会社電通デジタルについて】<https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、2016年7月に国内電通グループのデジタルマーケティング専門会社として設立しました。デジタルマーケティングの全領域に対して、「コンサルティング」、「開発・実装」、「運用・実行」の機能を持ち、統合的で最先端のマーケティングサービスを提供しています。テクノロジーやデータ、クリエイティブなど各領域のプロフェッショナルが、電通グループ各社との連携によりシナジーを創出し、クライアントの事業成長パートナーとしてビジネスの成功に貢献します。

【アドバンストクリエイティブセンターについて】<https://advancedcreativecenter.com/>

データ/AI（人工知能）とクリエイティビティの融合した「アドバンストクリエイティブ」の実現を目指し、2017年、電通デジタルに発足したクリエイティブ組織です。

認知度や好意度を向上させるブランドリフト広告から、顧客獲得のためのダイレクトレスポンス広告（バナー/LP/オンライン動画/ソーシャル広告）までを統合的に設計・制作し、広告配信の成果に合わせて改善のためのPDCAを行っています。広告の第一線で活躍するクリエイティブディレクター、コピーライター、アートディレクターや、ダイレクトレスポンス広告に関する知見・ノウハウを有するコンサルタントやディレクターなど、多数のスペシャリストが在籍しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・横田 TEL：03-6217-6036 Email：press@dentsudigital.co.jp